

経営比較分析表（令和6年度決算）

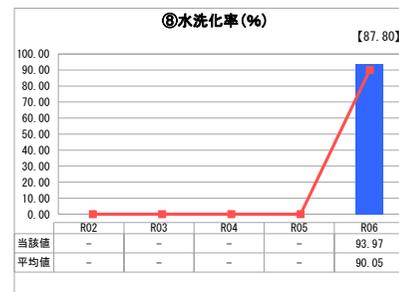
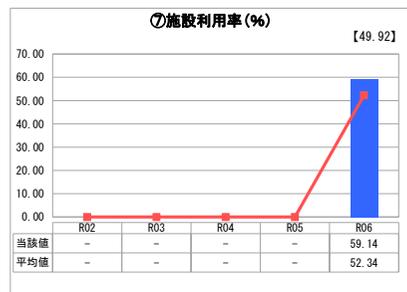
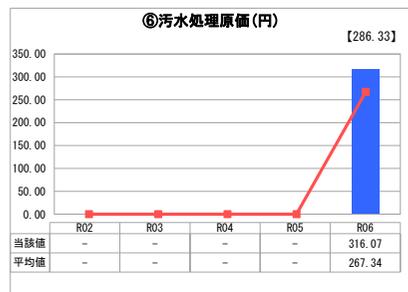
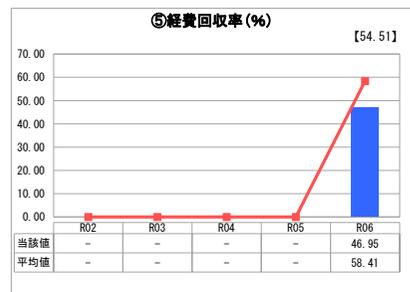
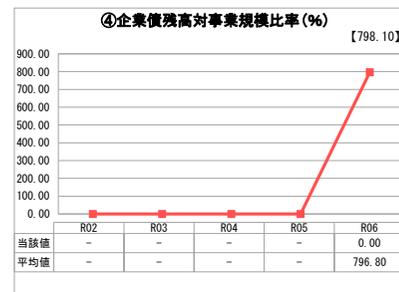
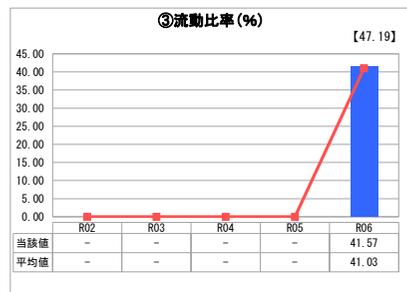
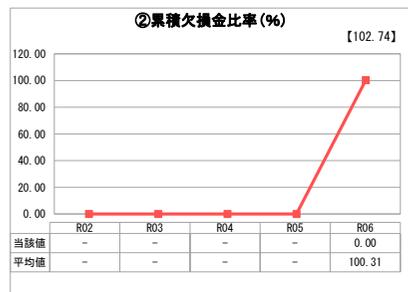
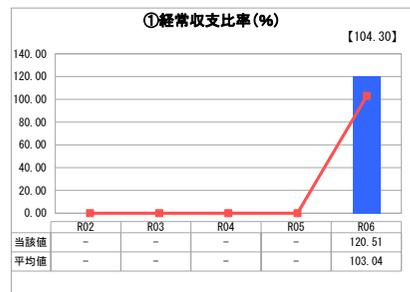
栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.57	9.05	83.45	2,860

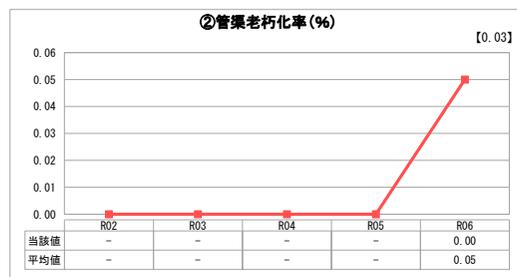
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,360	89.40	238.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,923	1.00	1,923.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は類似団体平均値をやや上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。
 ② 流動比率は類似団体と比較して同程度の数値となっている。償還・返済の原資を使用料収入等により得ることが予定されている。
 ③ 経費回収率は100%を下回ってしまっている。適正な使用料収入の確保のため、令和8年度使用料改定予定。
 ④ 汚水処理原価や⑦施設利用率は類似団体を上回っている。汚水処理経費削減に向けた取り組みが必要である。
 ⑤ 水洗化率は類似団体と比較すると高い状況であるが、安定した維持管理等を行う貴重な財源確保のために、今後も水洗化の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路施設は供用開始からの期間が比較的小さいこともあり、管路の老朽化はまだ進行していないが、今後は老朽化による計画的な修繕や更新が必要となる。

全体総括

益子町の農業集落排水事業は令和6年度から法適用に変わり、前年対比の数値は今回の表中には存在しないが、人口減少に伴うサービス需要の減少が見込まれる。また、処理施設の更新需要の増大及び物価高騰による営業費用の増加に対応するため、今後も使用料改定による収入増や公共下水道への統廃合など経営改善へ向けた取り組みが継続していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。